

原水爆禁止二〇二〇年世界大会

市長メッセージ

世界の恒久平和は、人類共通の願いであり、丸亀市民の願いでもあります。

広島・長崎に原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われてから、早七十五年、四分の三世紀となります。二度の世界大戦は、戦争が悲劇以外何も残さないことを私たちに知らしめました。

そして、東日本大震災による福島原発事故の発生。避難生活はかつてないほど長期化しており、改めて放射能の脅威について考えさせられるところでもあります。

我が国は、世界唯一の被爆国として、核保有国のほか、全世界に向けて「速やかな核兵器の廃絶」を、粘り強く訴え続けていかなければなりません。

丸亀市では、昭和五十九年、「非核平和都市宣言」を行い、今日まで市民とともに、平和で、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりました。今後とも人類共通の願いでもある「核も戦争もない平和な二十一世紀」の実現に向け、努力してまいる所存であります。

本大会が実り多い成果をあげられますとともに、ご参会の皆様方のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。

令和二年八月吉日

丸亀市長 梶 正 治